

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-507797 (P2005-507797A)

【公表日】平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)

【年通号数】公開・登録公報 2005-012

【出願番号】特願 2003-539936 (P2003-539936)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/30 (2006.01)

C 0 8 K 5/00 (2006.01)

C 0 8 L 27/12 (2006.01)

F 1 6 L 11/04 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/30 D

C 0 8 K 5/00

C 0 8 L 27/12

F 1 6 L 11/04

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 10 月 24 日 (2005.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フルオロポリマーを含むフルオロポリマー層を基材の少なくとも一つの表面上に有する前記基材を含む材料であって、前記基材および / または前記フルオロポリマー層がヒドリド官能基 M H (ここで、M は、S i、G e、S n および P b から選択される。) を含む有機化合物を含む材料。

【請求項 2】

前記基材に対して前記フルオロポリマーを反応させることにより請求項 1 に記載の材料から得られた反応生成物を含む物品。

【請求項 3】

基材にフルオロポリマーを接着させる方法であって、ヒドリド官能基 M H (ここで、M は、S i、G e、S n および P b から選択される。) を含むヒドリド基を有する有機化合物の存在下で前記基材に対して前記フルオロポリマー層を反応させることを含む方法。

【請求項 4】

(a) フルオロポリマー、

(b) ポリヒドロキシ化合物を含む硬化組成物、および

(c) ヒドリド官能基 M H (ここで、M は、S i、G e、S n および P b から選択される。) を含む有機化合物、を含むフルオロポリマー組成物。

【請求項 5】

(c) 塩素、臭素および / または沃素原子を含む熱可塑性溶融加工性半結晶質フルオロポリマー、および

(d) ヒドリド官能基 M H (ここで、M は、S i、G e、S n および P b から選択される。) を含む有機化合物を含むフルオロポリマー組成物。